

日本共産党市議団の一般質問

コロナ禍の学生支援を求めて



田中美穂市議

田中美穂市議は、コロナ禍で困窮している多くの大学生に対して、国の支援が届きにくい実態を紹介。三鷹市では学生を雇用する形で支援を行っている例を挙げ、町田市に検討するよう求めました。野津田公園のバラ広場移設について、4割も移植に耐えられないバラがあること、現バラ広場がウォーキングなどで活用されていることから、テニスコート整備をやめて広場として存続することを求めました。

市立図書館廃止と指定管理者導入はやめるべき

殿村健一市議は、新型コロナ“第3波”感染拡大から市民の命を守る対策について質問しました。リニア中央新幹線のトンネル工事については、調布市内で起きた東京外環道工事関連の道路陥没を教訓に、中止を要請すべきだがとの質問に、企画政策課長は、「今回の(調布の)事象を含めて安全対策をしっかりと要請する」と答弁。市立鶴川図書館とさるびあ図書館を存続すること、鶴川駅前図書館を皮切りにすべての市立図書館の指定管理者制度導入は中止すべきだがとの質問に、生涯学習部長は、中止せず、取り組みを進めると答弁しました。



殿村健一市議

生涯学習センターの民間委託はやめよ



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、生涯学習センターへの民間活力導入ありきの「利用者アンケート」についてただしました。生涯学習部長は、センターのあり方と効率的な管理運営手法について生涯学習審議会に諮問するための基礎調査であり、「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」の回答が46%で一番多かったとして、社会教育施設まで行革対象にする姿勢を示しました。また、山崎町エリアで行われている「E-バス実証実験」は、地域の実情と住民要求に即した地域内交通となるよう求めました。

子ども発達センターの検討は専門家参加で

細野りゅう子市議は、障がい乳幼児の相談、療育機関の子ども発達センターの役割と民間委託の方針についてただしました。障がい児または疑いのある子どもの相談、発達を促す指導、訓練を行う施設で、就学前の親子通園と認可通園事業を行っていること、認可通園部門に加えて親子通園も民間委託を検討していると子ども生活部長が答弁。細野市議は、民間委託の是非については学識者や関係者も入れた検討委員会設置を求めました。また、細野りゅう子市議は、民間委託の是非については学識者や関係者も入れた検討委員会設置を求めました。また、介護保険料引き下げを求める質問に対して、審議会を検討中の第8期保険料5900円(月額基準額)を引き下げのため、準備基金27億円を適切に活用するといきいき生活部長が答弁しました。



細野りゅう子市議

国際版画美術館の歴史を壊す “パークミュージアム”計画は見直しを

「町田市立国際版画美術館の版画工房・アトリエ移転の見直しを求める請願」審議の結果は不採択でしたが、町田市の「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」計画は31年間の市立国際版画美術館と版画工房の歴史を壊すものであることが明らかになりました。また、新たに整備する(仮称)国際工芸美術館には28億5千万円、2つの美術館の接続と国際版画美術館の改修に3.6億円、版画工房を移転させる体験工房整備に8億円の税金を投入する内容です。

国際版画美術館には江戸、明治の浮世絵や西洋の銅版画など古今東西の収蔵品があり、毎年数回の企画展では素晴らしい展示が行われてきました。国内はおろか世界でも有数の設備を有する版画工房でたくさんの市民、利用者が腕を磨き、素晴らしい作品を生み出してきました。市の「計画」は見直し、国際版画美術館と版画工房を守りましょう。



版画工房で版画を制作中の市民

補聴器補助求める請願 継続審査
バラ広場移設延期の請願 不採択

日本共産党が紹介議員となった「補聴器購入費用の助成を求める請願」は、継続審査に。「野津田公園バラ広場の移設延期等に関する請願」「町田市のすべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」は不採択になりました。また、党市議団提出の「持続化給付金、家賃支援給付金の継続、拡充を求める意見書」「日本学術会議会員任命拒否を撤回し、任命することを求める意見書」「桜を見る会」前夜祭問題の徹底究明を求める意見書は、自民、公明などの反対で否決されました。

中学校給食

あたたかい全員給食が実現へ

田中美穂市議は小学校のような豊かな中学校給食の速やかな実現や、各中学校に栄養士を配置することを求めて一般質問。学校教育部長は2021年1月に学校給食問題協議会から答申を受け、速やかに方向性を決定していくと答弁しました。市民のみなさんの粘り強い運動が、中学校給食をついに動かしました。学校給食問題協議会では、選択制か全員か、自校方式、親子方式、センター方式かについて全5回の協議が行われ、1月20日に答申が出されました。全員給食、食缶形式、センター方式で実施するという内容です。日本共産党は、豊かな中学校給食を早期に実現させるため、さらにみなさんと力をあわせます。

無料法律相談

どうぞお気軽に

2月10日(水)・24日(水) 午後2時～5時
 3月10日(水)・24日(水) 町田市役所3階 共産党会派室

※場所が変更になる場合がありますので、必ずご予約ください。 ☎042-723-6312

生活相談はいつでもお受けします 724-4030 日本共産党会派室